



令和7年度
昭和南小学校

五鈴鏡

令和7年9月24日

No.13

令和7年度 前期 学校評価の自己評価の結果

1学期末の学校評価アンケートではご協力いただき、大変ありがとうございました。

学校では、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートに加えて「児童」「職員」のアンケートや日常の取組、様々なデータなどをもとに全職員で総合的に考察し、今後の取組について話し合いました。その中から、特に重点を置いて取り組むことについて報告いたします。

今後は以下の点を重点に取り組みます！

【確かな学力の育成①：自ら学びに向かい、粘り強く考えている】

アンケートでは、「自分から進んで学習に取り組んでいる」と考えている児童・保護者のA・B評価の割合が合わせて90%を越えており、児童の学習への意欲の高さを示しています。これは、児童に自己決定する場面を増やせるような働きかけを教師が工夫し授業に取り組み、成果と課題を共有して次に活かしていることが、アンケートの結果につながっていると思います。今後も、児童の主体性を育むために、授業において、自己決定する場面を増やせるような教師の働きかけを工夫していきたいと考えます。

また、保護者向けアンケート「お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか」の結果は低くなっています。（B評価48% C評価29%）これは、自主的に課題を見つけ取り組む難しさや集中して学習できる場所や時間など学習環境を確保する難しさがあると考えられます。また、保護者が学習をサポートする時間の確保やサポートの仕方にも難しさがあるのではないのでしょうか。学校でも、①宿題の工夫（難易度の調整、目的を明確に、教師からのフィードバックによる達成感、自己選択させる）②学習習慣をサポートするツールの活用（家庭学習の約束、家庭学習カードの継続）③保護者向けの情報提供と相談の場の確保（学校だよりでの情報発信、個別相談会での積極的な声かけ）など児童が家庭での学習習慣が身に付くよう取り組んでいきたいと思っています。

【確かな学力の育成②：読書習慣の形成】

「毎月0のつく日は、ノーマディア・家庭読書デー」を今年度も継続して取り組み、ご家庭で工夫していただき、ありがとうございます。アンケートの結果では、児童は読書をしていると考えているが、家庭では読書の習慣が時間の確保などから難しいようです。学校では、読書が楽しいと感じてもらえるよう、引き続き学級で読書に親しむ時間を設けていきます。学校で読書に親しむことで、家庭での読書につなげていければと考えています。また、図書館事務職員と連携し、環境作りにも取り組みます。秋の深まりと共に読書をするにもよい季節になりますので、「ノーマディア・家庭読書デー」をきっかけにするなどして、ご家庭でも読書に親しむよう、お子さんに声をかけていただければと思います。



【豊かな心の育成：目を見て話を聞き、時と場に応じた挨拶・返事、落ち着いた行動ができる】

学校では、児童の姿から「落ち着いた行動ができる」という点が課題です。集団下校や団活動などで静かに落ち着いて集合できなかったり、話を最後まで聞かずに突発的な行動をする児童もいました。集団生活をする中で危険を感じることもしばしばあり、その都度声をかけたり、各学級で指導を重ねてきました。また、今年度も無言清掃の推進によって集中して物事に取り組む経験も重ねさねてきました。今後も、児童が落ち着いて行動しようとする意識を育てていきたいと考えています。

また、あいさつについては、アンケートで挨拶や返事ができていると思っている児童は多いが、保護者や教師の感じ方は児童より大分低くなっています。登下校時の児童の様子をみると、自分からあいさつができない児童や相手に伝わるあいさつになっていない児童もいます。反面、自分から笑顔で元気に気持ちのいいあいさつをしてくれる児童もいます。全体的にはまだ不十分な点がありますので、学校でもよくできた場面を賞賛するなどしていきます。ご家庭でも引き続き、気持ちいいあいさつや返事ができるよう、お子さんへの働きかけをお願いします。



【健康・安全：児童が危険を予測したり回避したりする力を高め、安全に生活している】

早寝早起き、朝ごはん、手洗いなどの生活習慣については、児童も保護者も意識が高く、気をつけていると考えられます。しかし、児童は、「よい姿勢」を意識して、勉強や食事ができていると答えているものの、保護者の評価が低く、児童と保護者の意識に大きな差があります。学校では、「良い姿勢」について保健給食委員会の児童に呼びかけてもらったり、授業や給食の時などに教師から声をかけたりしていきます。また、学校保健委員会では、理学療法士の姿勢教室を通して、学校でも家庭でも「よい姿勢」を意識して生活できるよう、働きかけていきたいと考えています。

また、わたしたちの身の回りにはたくさんの危険があります。アンケートでは安全について、児童は高い数値が得られましたが、保護者や教師は児童ほど高くありません。大人には危険と覚えることも児童にはそうでもないと感じているのかもしれませんが、実際には廊下を走ったり、ものを投げたり乱暴に扱ったりといった、「このくらいいいや」といった油断がもととなる危険な行動が見られます。学校では様々な想定の下、避難訓練をしています。この夏休みにも大雨による水害や地震による津波の情報もありました。ご家庭でも再度災害時のこと（避難場所や子どもだけの時の行動の仕方など）について確認しておくとういことと思われます。ぜひお子さんと話し合ってみてください。命を守るために学校でも指導をしますが、ご家庭でも再度ご確認のほどよろしくお願いします。



＜学校評価アンケート集計表＞

(数字は%)

評価対象	アンケート項目（児童）	児童				保護者				職員			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
確かな学力 進路・生き方	1 学んでいるときに自分の考えを（低:もと 高:もち、親はう）としていますか。	49	45	5	1	26	70	4	0				
	2 児:授業がわかりますか。 保:家庭学習の習慣が身についていますか。	57	38	4	1	19	48	29	4	36	64	0	0
	3 進んで読書をしていますか。	49	35	15	1	25	25	43	7	60	40	0	0
	4 自分から進んで忘れずに当番や係などができましたか。	68	26	4	1	21	64	14	1	45	55	0	0
豊かな心	5 友達によいところを伝えたり、友達から自分のよいところを伝えてもらったりしていますか。	50	38	11	1	34	56	8	2	45	55	0	0
	6 目を見て話を聞くことや、挨拶・返事ができていますか。	60	35	4	1	25	66	6	3	50	50	0	0
健康体力	7 早寝早起き朝ごはん、手洗いなどの生活習慣に気を付けていますか。	51	38	9	1	29	60	10	1	55	45	0	0
	8 「よい姿勢」を意識して、勉強や食事ができていますか。	38	44	16	2	6	53	32	9	64	36	0	0
	9 進んで運動したり、体を動かして遊んだりしていますか。	71	19	7	3	44	35	18	3	9	91	0	0
安全確保 施設設備	10 「自分の身は自分で守る」という気持ちで、安全に気を付けて生活していますか。	79	18	2	1	44	39	14	3	55	45	0	0
	11 学校の中で危ないと思うところはありますか。	68	16	12	4	30	70	0	0	58	42	0	0
保護者との 連携	12 家の人に学校からのお便りを見せたり、学校でのことを話したりしていますか。	64	23	10	4	37	61	2	0	58	42	0	0

その他、いただいたご意見については協議し、今後の活動や指導に生かしていきたいと思います。

南小の子どもたちの輝く笑顔のために、職員一同、精一杯努力していきますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昭和村立南小学校長 吉野 満由美